

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年2月23日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105073
法人名	有限会社 いろり
事業所名	グループホーム いろりの家
所在地	鹿児島県鹿児島市坂之上6丁目20番30号 (電話) 099-262-4647
自己評価作成日	平成31年1月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成31年2月14日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当グループホームは、鹿児島市南部にある郊外の静かな住宅地に位置しております。近隣には郵便局・スーパー・大学等が在り、衣料品店やスーパー等に入居者様と一緒に買い物に出かけたり、住宅地を散歩したりして過ごしております。入居者様の生活を安全に送っていただくために、身体拘束・高齢者虐待・感染予防・安全管理委員会を立ち上げて研修を取り組んでおり、入居者様の支援に反映できるように、知識・経験向上に勤んでおります。また、ご家族や地域の方々との交流も出来るだけ深めていただけるように、季節の行事や運営推進委員会等にて参加の呼びかけを行っております。遠方にいらっしゃるご家族様へはお便りを発送しております。入居者様への医療管理については、かかりつけ医との連携を密に図り、看護師を中心に看取り介護まで取り組んでおり、看取り介護の実績もごございます。これからも入居者様・ご家族様が安心安全に「ゆっくり・楽しく・一緒に」想いが叶えられる住み慣れたホームであるように努めていきます。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当施設は、やや高い丘の上に位置し、季節の変化が施設の中においても感じられるような心地良い風が吹く場所にある。他に併設の施設があり、施設の後ろには畑があり、季節の野菜を植えて収穫を楽しんでいる。
- ・日常的に周辺の散歩や畑の手入れ・近くにマーケットがあり、散歩の後に本人の買物をしている。年間計画を立て、初詣やソーメン流し・公園・弁当持参での花見に出かけている。家族の協力で外出や外食・墓参などの際にも支援している。
- ・身体拘束・高齢者虐待・感染予防・安全管理委員会を中心に研修会を実施し、利用者が安全にその人らしい生活ができるように支援している。
- ・看護師の協力のもと、看取り介護に取り組んでいる。
- ・職員体制を見直し、ゆとりある職員体制により働きやすい職場づくりに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念に基づき、近隣の方や地域の方との交流を設けられるように意識している。ケアについては常に理念を基準にしたものを提供していけるように考えて、実践している。	地域との良い関係を維持することを考慮しながら分かり易い言葉で理念を玄関やホールに掲示している。月1回の職員会議などで理念を基に日々のケアについて情報の交換をしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会への協力（毎月の資源物の回収）を積極的にしている。道路側の清掃等も行っており、地域の方への挨拶も励行している。	町内会に入会し、回覧版を回覧している。町内会の廃品回収に参加し、清掃作業も職員が交代で行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	行事の参加者や運営推進会議の際に有識者（町内会長、民生委員、会長、長寿あんしん相談センター職員等）に困り事に対応したり、認知症の方への支援の方法等をお伝えしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	基本的に有識者の参加を募って行っている。行事と重ねた形で本人様やご家族様等、参加しやすいように検討している。様々な意見を取り入れサービス向上に活かしている。	会議は定期的開催している。事業所の状況や外部評価の報告を行い、地域からの情報報告もあり、情報発信の場になっている。避難訓練にも参加してもらい、避難場所の確認をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	本人様に関して関わりのある担当者とはできるだけ本人様の事で報告を行っている。又、運営推進会議に長寿あんしん相談センターの担当者とも関わっている。	市担当者には、窓口に出向いたり、電話で事業所の実情や取り組みを伝え、連携を深め助言を貰っている。運営推進会議を通して協力関係もできている。毎年介護相談員を受け入れている。福祉課の担当者とも密に連絡し合っている。市主催の研修会にも積極的に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束は行っていない。3原則に則り、それでも出来る限り行わないケアを実行し入居者様が望むケアを行う。また、身体拘束・高齢者虐待の研修も行っている。	マニュアルに沿っての勉強会や高齢者虐待研修も実施している。職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。日中の玄関の施錠はせず、外出しそうな様子を察知したら、見守りや同行など職員間の連携で安全な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティングの機会や空いた時間を活かして学習し、実践に活かしている。また、職員間同士で注意を払い介助方法（虐待を行わない、圧力のない言葉かけ）をお互いに実行できるように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	入居者様一人ひとりの人権を尊重し、どの様な境遇の方でもその方にふさわしい支援を行っていく。又、後見人や権利擁護等についても理解し、支援に取り入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>内容については分かり易く、重要な箇所を中心に説明を行い、ご理解頂いている。要所要所に質問を伺っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族様へは、面会時に本人様の状況をお伝えし現状の理解や相談を行っております。その後、ご家族様にご意見やご要望を引き出すように努力してま</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、市相談員の結果も参考にして対応している。家族からは家族会や面会、電話、運営推進会議などが良い機会となっている。意見箱も設置している。要望で外食時に、個別でノンアルコールなどを取り入れるなど、個々の楽しみに反映させた例もある。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者から代表者へ随時報告・相談を行っており、それを踏まえ、現場で検討し、実行し、報告を行う体制をとっている。</p>	<p>毎月のミーティング時や申し送り時などに職員からの意見や提案事項などについて聞き取り、玄関の自動式芳香剤を置くことや加湿器の設置など環境整備などの充実を図っている。居室に加湿器やインフルエンザ予防に除菌マットを設置し、共用空間の空気清浄機に消臭剤を用いるなど環境整備に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の業績や能力により、個人面談等を参考にしたり、管理者より報告を受けたりしたものを、給与等に反映させている。職員各自向上心を持ち続けて働いていける環境を提供していく。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者は、管理者からの報告やミーティングの内容だけでなく、直接スタッフの状況を確認している。外部への研修へは出来る限り機会をとり易い様に、研修費用をだしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>スタッフが研修等を積極的に行える様、研修等の案内を掲示したり、申し送りとして提供している。また、該当するスタッフへの相談も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居してくる初めの段階は入居者様が不安にならないように各職員が声掛けを行い、出来る限り安心して頂けるように支援します。本人様が少しでも早くこの生活に慣れて頂けるように支援して参ります。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に、本人様やご家族様にアセスメントを行い、今までの事をお伺いします。その中で、ご家族様がお困りな事などを確認し、本人様との関係性と同様に関係づくりを徹底している。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	有識者や他福祉サービス機関より情報を頂き、連携を図ることで初期の支援をスムーズに行えるように努めている。又、ご家族様や本人様より聞き取り等行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様の生活歴を把握し、過ごされる中での選択肢を尊重する。介護の基本として人生の先輩として敬いつつも、対等の立場で接するように心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族様には、出来る限り本人様に面会や外出等の機会を持って頂けるように支援していく。ご家族様には本人様にはご家族様が必要である事をお伝えし、絆を深めて頂いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>入居者様には事前にアセスメントを行い、本人様を取り巻く関係（ご家族、ご友人）について確認を行い、今後も繋がりが継続できるように支援を行う。</p>	<p>友人が施設を訪ねてきたり、馴染みの美容師が定期的に訪問している。入居者の希望により、職員同行により近くの店に買い物に行くこともある。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者様同士の関係の把握はスタッフにて共有している。入居者様が出来る限り不安や混乱が少ない生活を送れる様、座席の配置や居室の位置等も環境の一つとして検討している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>当サービスの契約が終了しても、相談や機会があれば面会に伺ったり、ご家族様へのアフターフォローもしっかりと行っております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	おひとりおひとりの希望は傾聴し、日常生活のケアや既往歴等等より検討し、できるだけ添えるようにしている。	日々の関わりの中で、個人とのコミュニケーションを図り、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。困難な場合は、介護相談員の助言や家族とも相談し、利用者本位の支援に結びつくよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に本人様やご家族様、各関係機関等にアセスメントをとっている。情報をもとにできる限りサービスに活かしている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ホームでの生活パターンや性格等を把握し、皆が穏やかな生活を送って頂けるように支援に活かしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	アセスメントを行い情報収集した上でスタッフ間で話し合い、ケア等の方向性を決め、ご本人様・ご家族様、関係機関へと説明・同意をもらっている。修正ある場合は速やかスタッフ間で話し合いを行う。	本人、家族の意向を確認している。主治医の意見も取り入れて、アセスメントを行い、職員間で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に日々の記録を行っている。また、朝・夕の申送りで気づいた事や報告すべき内容を伝えている。随時、対応策を決めたり、ミーティングを通して全体の方向性の共有を行い、実践と見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	基本、ケアプランに沿った日常生活のサービスと入居者様の変化に応じたケアを全職員で実践している。また、様々な機関等のサービスを用い、本人様に沿った生活を提供している。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近くのスーパーへの買い物、近隣の散歩や庭での団欒時間において地域の方々との交流をしている。また、有識者との話し合いも行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	各入居者様とその家族様の意向を含めかかりつけ医を決めている。往診や定期受診を確実にしている。臨時の往診も行える医療機関を推薦している。また、緊急時の対応についても契約時にお話している。	2週間毎に往診を基本としている。他科受診の場合は、家族の付き添い、難しい時は職員が同行している。緊急時の対応については入所時家族に理解を頂いている。受診後は家族へ報告をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日頃のケアを行う中で申し送りなどで情報を共有し、医療的な部分については看護職員や主治医へ相談報告し連携して支援出来ている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>本人様のアセスメントや入院前の本人様のご様子入院先に情報提供を行う。入院前後の本人様・ご家族様へのフォローも行っている。入院後は定期的に状態確認を行い、退院に向けての早期の対応が行えるように支援している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人様・ご家族様と相談し、出来る範囲で支援を行っている。重度化や終末期は難しい部分があるが、随時、本人様に合わせたケアを検討し、ご家族様に確認し、最後まで安心して過ごして頂けるように取り組んでいる。</p>	<p>入所時に本人や家族に施設の方針等について説明している。職員は看取りについて経験がある。段階的に家族と話し合い家族の意向に沿うように支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時・事故発生時マニュアルより対応がしっかりと行えるようにしている。時折研修にて再認識を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害訓練（火災）を年に2回行っている。災害対策はマニュアルを作成し、対応する。地域の方にも災害対策の件についてお話をしたり、協力を頂けるようお伝えしている。</p>	<p>消防署立会いのもと年1回、自主で年1回の昼夜想定避難訓練を実施している。スプリンクラーや緊急通報装置を設置している。避難場所への経路や地図を非常灯と同じ場所に設置している。運営推進会議メンバーも参加している。地域消防分団との協力体制もできている。水・米・缶詰・圧力釜・ガスコンロなどの備蓄があり、倉庫に保管している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ミーティングや研修（身体拘束・高齢者虐待など）で言葉かけについて勉強し実施している。また、言葉だけではなく、口調等や表情等についても配慮して対応している。	職員の研修を月1回実施し外部研修にも積極的に参加できるようにして、職員の資質向上に取り組んでいる。一人ひとりの人格を尊重しプライバシーを損ねない言葉かけやケアに取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	生活の中で食べたい物・期待すること、要望等一人ひとり思いに添えられる様に支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人様や他入居者様に問題や悪い影響がない場合を除いて、基本的に本人様の意思を尊重している。又、日常生活が大きく変化し混乱しないようにも配慮している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洋服の選定や散髪の予定を立てたり、髪をとかしたり、ひげそり、化粧等、それぞれのできない部分をお手伝いしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたいものを献立に入れたり嗜好品をおやつで出したり行っている。食事の準備や片づけを手伝って下さる方には声掛けし怪我等しないよう行っていたりしている。	献立や食事形態を工夫している。野菜の皮むきや片付けなど職員と一緒にいたりしている。誕生日にはケーキ作りをしたり、季節の行事食・弁当持参での花見・家族と外食に行くなど、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取、水分摂取表を作成し、記録を行っている。一日の状況を把握して支援を行っている。摂取量が少ない方にはその方に応じた対応を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っている。必要時は歯科往診等行っていただく。夜間は義歯の方は洗浄剤につけている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者様個人個人の状況について排泄能力やパターンを把握し、支援を行っている。	排泄の自立を支援しトイレ誘導に努めている。排泄用品は個人に合わせて使用している。転倒予防の為、職員が同行している。オムツ交換時やトイレ使用時はドアを閉めるなどの配慮をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維の多く含まれた食材や昼食時は必ずフルーツヨーグルトをお出ししている。便秘の強い方には牛乳やヤクルト、ブドウ糖等、色々と試してみる事と同時に服薬の調整にて対応を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>入浴を拒否しがちな入居者様の方へ声掛けにて入って頂くよう様子を見てタイミングを見計らって、無理強いをせずに入浴をしていただいている。</p>	<p>基本的には週3回であるが、個々人の体調や希望にそって柔軟に対応している。シャワー浴も行っている。入浴を拒む場合は、声かけを工夫したり時間調整など職員間で連携して、状況改善に努めている。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>日中は活動をできるだけ行えるようにして頂く。また、寝たきりにならない様にホールにて座位時間をできるだけ過ごして頂くように支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>ホーム内の看護師の管理のもと服薬援助を行う事が出来ている。スタッフにも情報共有を行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>行事を開催したり、日常生活にて好きなものを食べたり飲んだり、洗濯物たたみや配膳下膳を手伝って頂いている。誕生会を開催したり、様々な気分転換を考え行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>施設の庭にてゆっくり団らんしたり、近くのスーパーに出かけて欲しい物を購入したりしている。本人が出掛けたい、場所や行きたい所へはできる限り要望に添えるよう努めている。</p>	<p>日常的には周辺の散歩や畑の手入れ・近くにマーケットがあり、散歩の後に本人の買物をしている。年間計画を立て、初詣やソーメン流し・公園・弁当持参での花見に出かけている。家族の協力で外出や外食・墓参などの際にも支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お小遣いとして所持していただき、出納簿に記帳等、お手伝いし、対応している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>施設よりお便りを出したり、ご家族様へ本人様からお手紙や電話でのお話を行っていただいている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>空気清浄機、消臭剤の設置や暖簾をトイレ・浴室・居室に設置したりしている。冬場には加湿器を使用したりと、採光や音楽（BGM）等の環境が心地よい様に行っている。</p>	<p>共用空間は採光も良く、空気清浄機や加湿器を置き温度・湿度に配慮し清潔である。トイレには防災暖簾がある。壁には利用者の作品や写真を貼布し、季節感を大事にした花や飾りつけがある。音楽が流れており癒される空間である。畳コーナーや多くのソファで居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間（ホール）では、入居者様同士の関係性等を考慮して席配置を行っている。独りになりたい希望がある方は居室にて過ごして頂いているが、お茶や食事時には声掛けにてホールで過ごして頂いている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れたものや好みの物を居室に置き、生活を過ごし易いようにしている。又、動線や怪我や転倒に繋がらない様に模様替えしている。</p>	<p>居室はベッドやタンス・押し入れ・洗面台が備え付けである。寝具やテーブル・椅子・三面鏡・テレビ・時計・人形・遺影・写真など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮してある。褥瘡予防にエアーマット利用者もいる。居室入口には入所者の名前や写真が掲げてある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>できることやわかることを把握し、本人様にできることはできる限り自ら行って頂けるようにケアを行っている。無理の無いようその時の状態の把握は常にしているように努めている。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない